

試用期間中の 本採用拒否の 相談例

労働問題マンガ教材

労働問題ケーススタディ
紙芝居

IT企業経営



A社長

こちらは、A社長です。
A社長は、IT企業を経営していました。
A社長は、昨今の人材不足に悩んでいました。



『うーん、最近は本当に人材不足で困ったなあ。我が社の業界は開発競争が激しいから、優秀な社員さんをたくさん雇って開発に力をいれないと、競争に負けてしまう。』

しょうがない、今までだったら、採用しなかったような学生でも、とりあえず、たくさん入社させておいて、そのかわり、試用期間を長くにとって、たくさんふるいにかけて、ふるい落とそう』

入社試験



B君

他方、こちらは、B君です。
B君は、新卒で、A社の入社試験を受けました。
A社の入社試験の結果を待っていました。
あるとき、B君は、自宅で休んでいました。



『ピンポン、Bさん、書留です』

『おや、なんだろうな、ああ、入社試験の結果だ。
どうかな、どうかな』

内定通知

『あ！内定通知だ。やったー！！』



『よかったー。内定もらえたから、もう就職活
動はこれで終わりにしようっと』



『あれれ、試用期間が6か月って書いてある。
なんだか、すこし長い気がするなあ。まあでも
別に良いか』



B君は、A社長の思惑を知らず、入社し、毎日を一生懸命がんばっていました。

『あー、忙しいなあ。これが社会人生活ってやつかあ。でも、毎日充実してるなあ』

5か月後

それから、5か月後のことです。



B君は突然、A社長に呼ばれました。

『A社長、呼びでしょうか？』



『あー、B君、突然だけど、わが社は、君を本採用しないことに決めたから』

『ええっ！そんな、どうかここで働かせてください。なんでもがんばりますから。僕の何が悪かったのでしょうか？』

『いやいや、特に理由はないけど、我が社は、君を本採用しないことにしたよ。』

ちゃんと、試用期間6か月って伝えてあったからね。契約書にも書いてあるし、君がハンコも押したよね。そうだろう、このハンコきみが押したんだろう？』



『たしかに私が押ししましたが、がんばりますからどうかお願いします』



『いや、だめだ。君は、試用期間6か月という契約に納得して入社したんだよ。』

わが社も、君が6か月の試用期間で納得するというから採用したんだ。

そして、我が社は、入社5か月の時点で、君を本採用しないことに決定したんだ。

だから、もう明日から来ないでくれ』



『え、ええー！そ、そんなー！！』

こうして、A君は泣きながら退社することになってしまいました。



それから、1か月後のことです。

『あー、青空の下のゴルフは気持ちがいいねえ』



『プルルルルル』

『おや、電話だ。秘書のC子くんからだ。もしもし、なんだね』

内容証明 郵便

『社長、大変です！B君の弁護士から、書類がきました。』

中身は、内容証明郵便です』

復職

『B君の本採用拒否は無効であるため、B君の復職を要求する、と書いてあります』



『なに！？いったいどういうことだ。そうだ、ウチも知り合いの弁護士さんに聞いてみよう』



『これはこれは、A社長、こんにちは。お久しぶりです。』

今日は、突然、どうされましたか？』



『いやー、先生、ちょっと聞いてくださいよ』

試用期間



B君

『実は、先日、試用期間6か月で採用したB君なんですが、もっと優秀な社員が入ってきてくれたので、B君は、試用期間で終わりにしようと思いました。本採用拒否したんですよ。』

そしたら、突然、B君の弁護士からB君の復職を要求する内容証明郵便が届きまして』



『あー、そうだったのですか、それは大変なことになりましたね』



『先生、試用期間っていう用語ですから、試用期間の社員は、特に、理由はなくても、本採用拒否ってできますよね？』



『いえいえ、社長、それは違うんですよ。』

みなさん、そのように誤解している人が多いんですが、そうではないんです。

試用期間といっても、もう既に、雇用契約が成立していますし、その間、社員さんだって他の会社に入社する機会が無くなったわけです。全く理由のない本採用拒否はできないんです。むしろ、裁判になった場合は、本採用拒否を認めてもらうには、かなりしっかりした理由と証拠を用意しておかなければ、負けてしまうことのほうが多いんですよ』



『えっ！そうなんですか！？』



『そうなんです。みなさん、よく誤解されているのですが、実は、試用期間中の本採用拒否は、実際にはかなりハードルが高いんです。』

でも、みなさん、このことをあまりご存知ないから、表面化しないままになってしまっているという事情もありますね』



『ということは、やっぱり、うちの会社、裁判
起こされたら、負けますかね？』

『残念ながら、その可能性は高いですね』



『ええー！ そんなー！！』

＜参考＞

試用期間中の本採用拒否をテーマに、よく誤解されがちなケースを、マンガ形式でお伝えしました。（この物語は制作時点の情報に基づくものであり、法令改正・判例変更等の可能性がありますので最新情報をご確認ください）。

